

⑪北村邸

松代から福島宿への宿場町として栄えていた川田宿の地主。二つの土蔵を連結した長屋門は明治中期に建てられたものである。母屋は小布施の酒屋を移築したものといわれ、殆んど釘は使われていない。土塗り壁と黒く塗られた下見板、腰板、外壁の二つの土蔵を連結した長屋門が道路に面している。長屋門西側の土蔵の二階には土蔵扉があり、その直下には、大正時代の郵便局舎として使われていた頃の「むくり屋根」が残されている。平成20年(2008)「長野市景観重要建造物」に指定された。



⑫旅籠和泉屋

川田宿では、本陣向かい側に東から和泉屋、中屋、扇屋の三軒の旅籠が軒を並べていた。街道に面して間口十間、奥行き五間の瓦葺き総二階建ての旅籠が「和泉屋」で現在の橋本家住宅である。二階の外壁に残された、漆で浮彫された屋号「和泉屋」に往時の面影が偲ばれる。また、高級武士の宿泊には、部屋数も多く設備の整った和泉屋が利用され、脇本陣に準ずる役割を担った。橋本家からは近年「内国通運 川田継立所」と記された古い看板が発見され、宿場の跡が刻まれている。



⑬口留番所

松代藩が他藩との境界や交通の要所に設けた見張り場所の一つ。川田宿は、須坂藩との境、千曲川・関崎の渡し、大笹街道・保科道(群馬県に通じる街道)の起点であるなど、領内に20置かれた番所の中でも特に重要視された場所であった。番所では、街道を通る人や物の出入り、特に女人の出入りと漆塗(うるし)の持ち出しを厳しく取締ったほか、夜間には宿場内や渡し場の見廻りなど、油断なく警固していた。今は石柱が建つのみである。



⑭錦ヶ池

永禄4年(1561)、川中島合戦の帰途について上杉謙信はのどの渇きを覚えて村人に尋ねてこの池を教えられる。ここに馬を休めた謙信に家臣の和田喜平太は錦の陣羽織を以て、この池の水を汲み上げて献じたことから、「錦ヶ池」と名付けられた。また、謙信ゆかりの名馬にちなむ駒爪の石は、もはや池の中に姿を消してしまった。

“武士(もの)のふの衣の錦池水に映して澄める花紅葉かな”



⑮町川田神社の常夜燈

八丁村の豊田新治良さんは関崎の渡し場で誤って千曲川に転落。周囲の人々に助けられ九死に一生を得た。日頃から信仰心が篤かったので、仏の功德に感謝して関崎の長覚寺へ常夜燈を寄進した。文政8年(1825)のことである。火袋石の大きな傷みは善光寺地震の傷跡か、宝珠石も無くなっている。町川田神社へ移されたのは、いつの時代か、どんな理由があったのか定かではない。



⑯関崎の渡し

川田宿と川中島平を結ぶため、千曲川に設けられた松代藩公設七渡しの一つ。夜間には、松代城下側に渡し舟を繋ぎとめることを義務付け、防備を固めていた。この渡しは、川田宿から保科道を経て大笹街道に通じて江戸へと至る交通の要所に位置する。また、松代松井郷の古地図には、関崎の地に「関所」と記されており、早い頃から川と陸とを結ぶ要衝であったことがうかがえる。



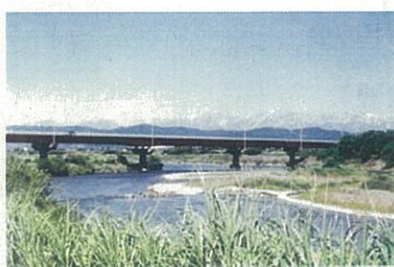
⑰関崎の常夜燈

川田宿の西口関崎の千曲川河畔に大きな常夜燈が建てられている。この常夜燈は、保科清水寺の観音講中が参拝者の安全を祈って寄進したもの。台座には、当所の世話人10名と近郷近在28ヶ村の村名と共に世話人45名の名が刻まれている。多くの人びとによって建立された常夜燈は、道中奉行の許可を要し、夜毎灯を点す役目を担った人々に守られ、関崎の渡しを照らす灯台であった。



⑱千曲川通船

千曲川通船は松代藩の支配下におかれ、流域産物の交易に当たり、川田河岸は関崎の渡し船場を兼用し、船荷は問屋(西沢家)の荷蔵に収められた。船荷は、越後からの塩、砂糖、魚、海草、お茶、金物、呉服等が運ばれ、これら品々は飯山、中野、小布施、須坂、川田、松代の北信一帯から上田方面まで流通した。また、通船荷を川田河岸から赤野田を経て、東信地方へ送る洗馬道の改修案は実現に至らず、幻のバイパスとなった。



⑲文化財「灰釉四耳壺」

この壺は、町川田地籍の芝原山遺跡から出土した鎌倉時代とも推定される灰釉四耳壺である。このような高価なものは、貴族や上級武士、寺院などごく限られた人々の秘蔵品であった。壺は昭和51年(1976)7月26日に出土し、高さ24cm、直径18cmで口辺部が失われているため、原形を知ることが出来ないが、肩部四ヶ所に特有の突起が付いている。東光寺の寺宝であるとともに長野市の文化財として指定されている。



⑳大滝の泉

“北に流るる千曲川、南に聳ゆる古城山、黄金の山の松青く、大滝泉の水清し”と歌われた「大滝泉」。当時は宿場の本町通り中央に、防火用水・馬の飲み水・旅人の足すすぎ水の生活用水として貫流していた用水堰の水源地であった。「大滝」という地名はこの付近の地名の中に、「尾滝」・「小滝」とあり、当時の盛んであった宿場周辺の跡を伝える名残の地名である。



川田宿関連史跡マップ

